連合岩手釜石・遠野地協
NEWSLETTER

連合岩手釜石・遠野地域協
NEWSLETTER第51号
発行人　小島　安友
編集人　菊池　利行
2025.5.15 発行

支えあい、個性が活きる平和社会を

第96回メーデー地区集会

釜石地区、遠野地区、パレード行進も実施

メーデー実行委員会/連合・平環センター・友愛会
三団体の共催

2025年5月1日（木）、「次世代につなぐ　平和の願い　みんなでつくろう　支えあう安心社会とたしかな未来（あした）を！」をメインスローガンに「第96回メーデー集会」が県内各地区で行われました。釜石地区集会は組合員限定で約110名、労働者の祭典を祝いました。一方、遠野地区集会も同様に約50名の参加で実施になりました。パレード行進を両地区ともに実施し、シュプレヒコールが街中に響き渡りました。

釜石地区集会は釜石情報交流センターPITを会場に午後5時開会、来賓として大久保隆規県議、三浦一泰市議、長谷川隆一・東北労金釜石支店長、長崎達雄・こくみん共済コープ支所長、今野徹・平和環境釜石地方労センター議長、五嶋大季・釜石地区友愛会会長に出席いただきました。

集会の冒頭、実行委員長である連合釜石・遠野地協の小島議長が挨拶、春闘を格差是正や生活の安心・安全に生かせる運動の拡大、参議院選挙に向けての取り組み強化を訴えました。続いて大久保隆則県議から挨拶をいただき、その後、小野共釜石市長、平野公三大槌町長、菊池秀明市議からのメッセージが紹介されました。

今年の集会は、昨年より参加人数や開催時間を増やし、晴天下の開催となりました。

集会の前半では、一昨年地域貢献活動として応援した「廃墟と化した鉄の町～釜石艦砲射撃の記録～」の前半部分を上映し歴史や平和への思いを共有しました。

団結ガンバロウする小島議長

釜石集会抽選会で単組から景品提供・紹介

TETTO前広場でシュプレヒコール！

夕暮れ時 TETTO前でゴール

集会の後半では、実行委員会の女性青年委員会が中心となってイベントを行いました。「お楽しみ抽選会」は各単組提供の景品を紹介し、大いに盛り上がりました。集会にあわせて取り組んだ「被災地支援カンパ」は8826円を集約しました。

その後、釜石市民ホールTETTO前広場に移動して、各単組の決意を表明する集会、パレード行進を実施しました。シュプレヒコールが大町界隈に響き渡りました。

****

遠野地区集会は同日、遠野市民体育館を会場に午後1時30分に開会、来賓として、小松正真市議、菊池優也・遠野地区友愛会会長、石井吉昭・地区社民フォーラム代表、関哲三郎・東北労金遠野支店長、長崎達雄・こくみん共済釜石支所長にご出席いただきました。

組合旗を持って行進/遠野地区

実行委員長である遠野地区労菊池利行議長が挨拶、働きやすい職場作りと物価を超える賃金改善実現の訴えがありました。続いて、小松正真市議から挨拶をいただき、その後、多田一彦遠野市長からの連帯のメッセージが紹介されました。

本集会では恒例の各単組によるパフォーマンスコンテストや「お楽しみ抽選会」によって大いに盛り上がりました。

パフォーマンスの部の最優秀賞は遠野保育労が獲得しました。

「がんばろう岩手、祈復興、豊かな生活を！」のテーマで実施された集会です。寛容な社会を構築するための意義と意味を再考できた集会になりました。広く市民に訴えるシュプレヒコールが市街に響き渡りました。

釜石地区会場

遠野地区会場

最優秀賞の保育労の行進

組合旗を先頭に集合

釜石地区
メーデー実行委員会のメンバー

大船渡市山林火災の被害に対する救援募金活動を実施

メーデー集会の釜石地区、遠野地区それぞれで募金の呼びかけを行いました。

参加者及び構成単組、実行委員会から、多額の募金がありました。ありがとうございます。被災地に届けます。

★釜石地区　１２５２６円

★遠野地区　２４３６２円

●尚、４月迄の両地区合計募金、３２０３８円は連合岩手に送金済です。

今年も実施いちご狩り

大きないちごがいっぱい！

いちごパーク せせらぎファーム

地協女性青年委員会主催行事

今年もみんなで楽しみました!!

広い会場、イチゴが一杯
食べ放題　30分間

３月１日(土)、陸前高田市のいちごパーク(福祉法人大洋会　せせらぎファーム)にて「みんなでいちご狩り」が行われました。地協の女性青年委員会主催の行事に２８名の参加があり子どもたちも大人も腹いっぱいいちごを食しました。全員が心もおなかも一杯になりました。

釜石地区と遠野地区をそれぞれの参加があり、交流を深めました。

2025 陶芸教室　狐松窯

釜石地区労福協
陶芸教室開催

３月１日（土）に「2025 陶芸にふれよう（狐松窯での体験教室）」が釜石市上平田の狐松窯で開催されました。１２人の参加があり、個性あふれる陶器を作成しました。数色ある釉薬も選ぶことができ、オリジナルの陶器が出来上がりました。

指導者の海老原正人さんは、昭和６１年、当地に開窯し、数多くの賞を授賞しました。釜石市のふるさと納税返礼品にも登録されています。当日は、水差しや茶碗、皿などの作り方を一つ一つ丁寧に教えていただきました。親子参加もあり、「時間の経過が早く、作品作りに熱中していました」「粘土をこねる楽しさを感じました」「地域にこのような体験の場所があることを初めて知り、来年も開催してほしい」という感想がありました。

その後、イオンタウン釜石のフードコートに移動して昼食交流を行いました。

真剣な作品作り

楽しく交流会